



平成 27 年 10 月 5 日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：村上、田中)

オウサマペンギンの赤ちゃんが誕生しました！

大阪市港区の海遊館では、平成 27 年 9 月 25 日（金）に、オウサマペンギンの赤ちゃんが 1 羽誕生しました。現在、「南極大陸」水槽にて、親鳥がおなかの下で保護しており、時折、赤ちゃんが顔をのぞかせます。6 月 21 日生まれのアデリーペンギン（6 月 22 日報道発表済）、6 月 23 日生まれの同じくアデリーペンギン、7 月 20 日生まれのジェンツーペンギンの赤ちゃん（7 月 29 日報道発表済）誕生に引き続き、今年 4 羽目のペンギンの赤ちゃんとなります。

オウサマペンギンは、ペンギンの中でも特別な方法で卵を温めます。巣をつくらず、卵を直接あしの上に乗せ、おなかの皮膚をかぶせて卵を包み込みます。オスとメスが交替で卵を温め、およそ 60 日後に赤ちゃんが誕生します。

海遊館では、オスとメスが卵を受け渡す時に、卵を落として割ってしまったり、プールに落としたりする事故を防ぐため、産卵後すぐに、模造の卵とすり替える工夫を行います。卵はふ卵器に収容し、赤ちゃんが中から殻を割り始めた頃に親鳥に戻します。

現在、赤ちゃんの健康状態は良好で、飼育係員は、毎日、赤ちゃんの体重を測定し親鳥とともに成長を見守っています（体重測定は、海遊館の開館時間前に行います）。

海遊館でのオウサマペンギンの誕生は、通算 42 羽目となりました。



体重測定中の赤ちゃん（平成 27 年 10 月 1 日撮影）

1. 赤ちゃんの誕生について

産卵日：平成 27 年 7 月 31 日（金） ※卵の長径 102.0mm、短径 71.0mm、重量 273.3g

ふ化日：平成 27 年 9 月 25 日（金） ※産卵後 56 日目、体長約 10cm（目測）、体重 186.9g

雛の大きさ：体長約 15cm（目測）、体重 443g ※10 月 5 日現在

2. オウサマペンギンについて

和名：オウサマペンギン（ペンギン科） 英名：King penguin 学名：*Aptenodytes patagonicus*

南極大陸周辺の島に生息し体長約 90cm、体重約 12kg。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

ふ化後約 1 ヶ月で体重約 2 kg、2 ヶ月で体重約 7 kg。生まれてからおよそ 6 ヶ月後には親鳥

とほぼ同じ大きさになる。生後 8 ヶ月頃に茶色い綿羽が抜け落ち、親と同じ模様になる。

3. 参考写真



（上）体重測定の様子
飼育員が一時的に親のおなかの下から取り出し、体重計に乗せ、すぐに親のもとに戻します。



（下）親子の様子（過去の様子）
親に守られている雛が、時折顔をのぞかせます。